
巻頭言

コロナ禍における環境変化

公益社団法人 日本防犯設備協会 常任理事
パナソニック コネクト株式会社
現場ソリューションカンパニー 公共システム推進部 部長 吉田 剛



1年前の夏にコロナ禍の中で、オリンピック・パラリンピック東京大会が開催されましたが、かなり昔のことのように感じております。その後もコロナは変異株を経て終息することなく、第7波まで続いている状況であります。もう2年半以上、コロナと共に存していることになります。こうしたコロナ禍において、対面での人とのやり取りが難しい状況の中で、創意工夫を重ねながら、「オンライン」での会議・授業・診察・スポーツ観戦・音楽鑑賞・観光等を実現できる環境が急速に作られてきました。必然的にネットワーク環境が整備され、デジタルテクノロジーが進化したと思います。政府も更にデジタルトランスフォーメーションを加速させるべく様々な重点施策を掲げております。

一方、最近ではコロナと共に存しながらの「リアル」環境が、制限はあるものの徐々に復活しております。「リアル」が増えてくることでの、人の対面コミュニケーション・交流の大切さ、スポーツ観戦・コンサート等での生の音、迫力の素晴らしさを改めて感じます。今後のコロナ状況を予測することは難しいですが、いずれにしても「リアル」と「オンライン」の良さを融合した、ハイブリッドな新たな仕事のスタイルや生活様式が形成されていくと感じております。

今後のハイブリッド的な新たな世の中において、また人生100年時代とも言われている中で、昨

今、健康への意識が高まっていると感じております。特にコロナ禍において体の免疫力アップの必要性などが指摘されており、バランスの良い食事、質の高い睡眠、適度な運動の大切さが改めて見直されていると感じます。

私自身は健康維持・増進の取組みとして、ここ数年のコロナ禍で鈍った体を絞るために、ジョギング、ストレッチ体操、筋力トレーニングを始めてみました。特にストレッチ体操は、普段あまり使っていない部分に負荷を与えることで柔軟性を高めることができる為、老化防止、健康維持には効果的であると言われております（ヨガも効果があり、最近はヨガ人口が増えているようです）。但し何事も無理をすると怪我に繋がりますので、徐々に鍛えながら、しっかり継続して、体力向上・維持に努めていきたいと考えております。

最後になりますが、日本防犯設備協会もコロナ禍において模索しながら「リアル」と「オンライン」を融合して、委員会活動、セミナー、各種会議等を実施してきております。また防犯設備養成講習・資格認定試験は2021年度からIT化され、受験生の利便性が大幅に向上しております。私自身も今後の協会活動の益々の活性化に向けて取り組んで参りたいと思います。引き続きよろしくお願い申し上げます。